

# 個人投資家説明会

地球の恵みを、社会の望みに。



(証券コード：4088)

2024年4月20日

- 1 はじめに
- 2 会社概要
- 3 成長戦略
- 4 持続可能な社会の実現に向けて
- 5 株主還元



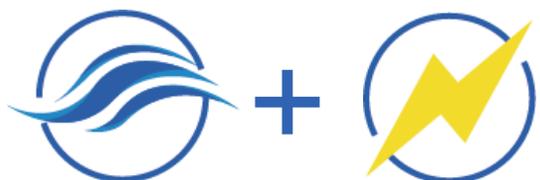
# 空気と同じで目には見えないけど、身近で欠かせない存在の「産業ガス」



製造業で原料や中間材、あるいは品質向上、省エネや製造プロセスの安全のため、幅広い用途に使われるガスの総称

# 「産業ガス」の製造から供給まで

## 産業ガス製造



空気

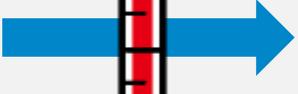
電力

-183°C



O<sub>2</sub>

-186°C



Ar

-196°C



N<sub>2</sub>

沸点の違いを利用して  
酸素・窒素・アルゴンを取り出す。

ガス製造プラント  
(全国各地に配備)



## 産業ガス供給



### オンサイト供給

直接パイプをつなぎ、  
工場にガスを送る。



### ローリー供給

タンクローリーで  
工場にガスを運ぶ。



### シリンダー供給

ガスボンベにガスを  
充填して運ぶ。

「VSU」（中小型プラント）を基軸にした、産業ガスの地産地消モデルにより、国内産業ガス事業の拡大と収益性向上を実現してきました。

VSU設置拠点



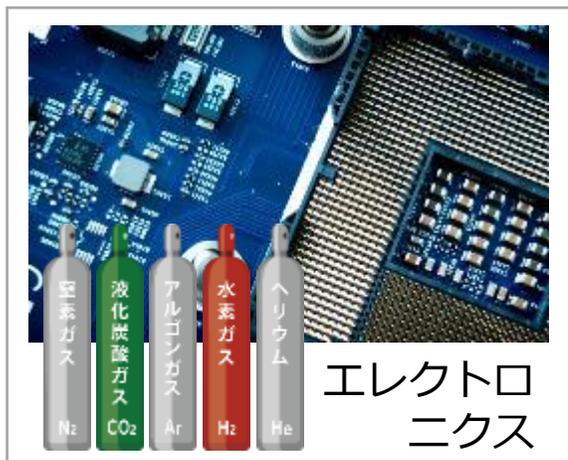
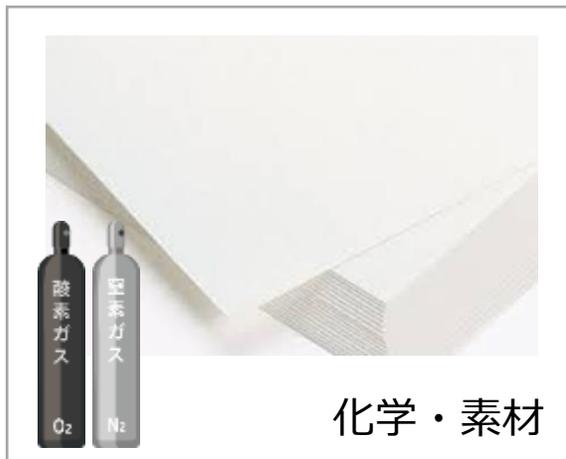
全国22拠点

VSU戦略とは

全国各地の需要地近郊に、VSU等の生産インフラを配備する、分散型ネットワーク戦略

- VSUは中小型のプラントで、高効率な液化ガスの生産を実現
- 地域の有力な産業ガスサプライヤーとのパートナーシップを構築
- 需要地近郊に生産拠点を設置することで、輸送距離の大幅削減を実現。同時に、環境負荷低減に貢献

# 「産業ガス」は用途が多岐にわたり、特定業種の好不況に左右されません。



# 会社概要



(2023年3月31日時点)

社名	エア・ウォーター株式会社
上場取引所/ 証券コード	東証プライム・札証 (4088)
創業	1929年
総資産 (連結)	1兆916億円
連結会社数	185社
従業員数 (連結)	20,109名
発行済株式総数	229,755,057株
単元株式数	100株
売上収益	1兆49億円
社債格付	AA- (JCR) <small>※2023年7月に変更</small>

## 経営理念

創業者精神を持って  
 空気、水、そして地球にかかわる  
 事業の創造と発展に、英知を結集する

## パーパス

地球の恵みを、社会の望みに。

# エア・ウォーターの歴史

歴史も文化も異なるほくさん（北海道）、大同酸素（大阪）、共同酸素（和歌山）の3社が2度の合併を経て、2000年にエア・ウォーターが発足しました。

前身のほくさん創業から約100年、高度経済成長など日本の産業の発展に寄り添い、成長してきました。



ほくさん 1929



大同酸素 1933

1993

大同ほくさん株式会社

1962

共同酸素

産業ガス / ケミカル



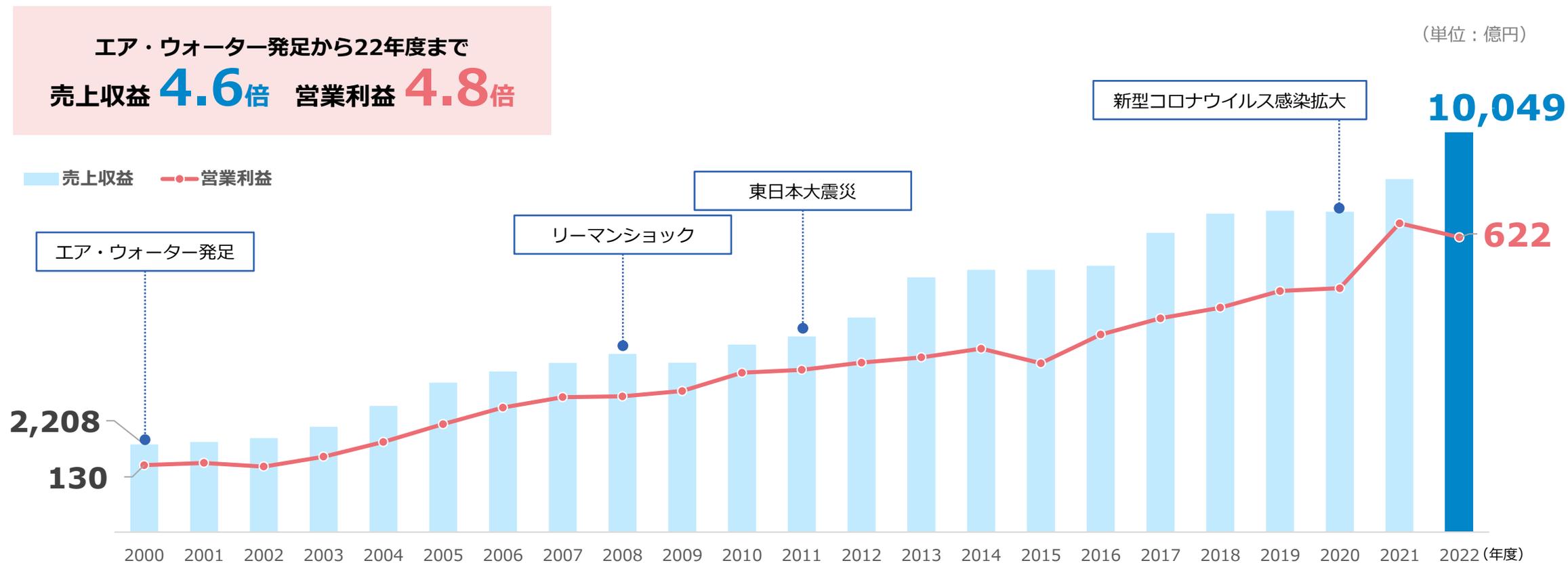
2000

エア・ウォーター株式会社発足

大同ほくさんと共同酸素が合併



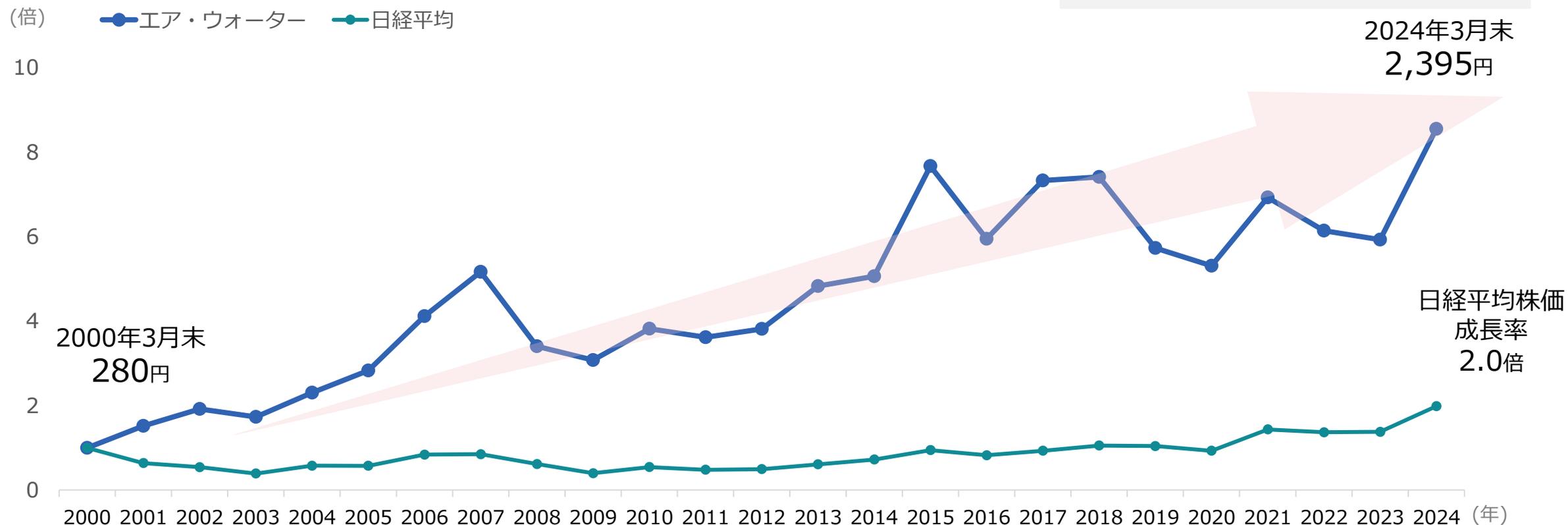
エア・ウォーター発足以来、安定的な成長を実現し、2022年度には売上収益 1 兆円を達成いたしました。



※利益は、2018年度までは日本基準における「経常利益」、2019年度以降はIFRS基準における「営業利益」を表示

株価についても業績とともに安定的な成長を実現するとともに、過去24年間の株価成長率は日経平均株価を大きく上回っています。

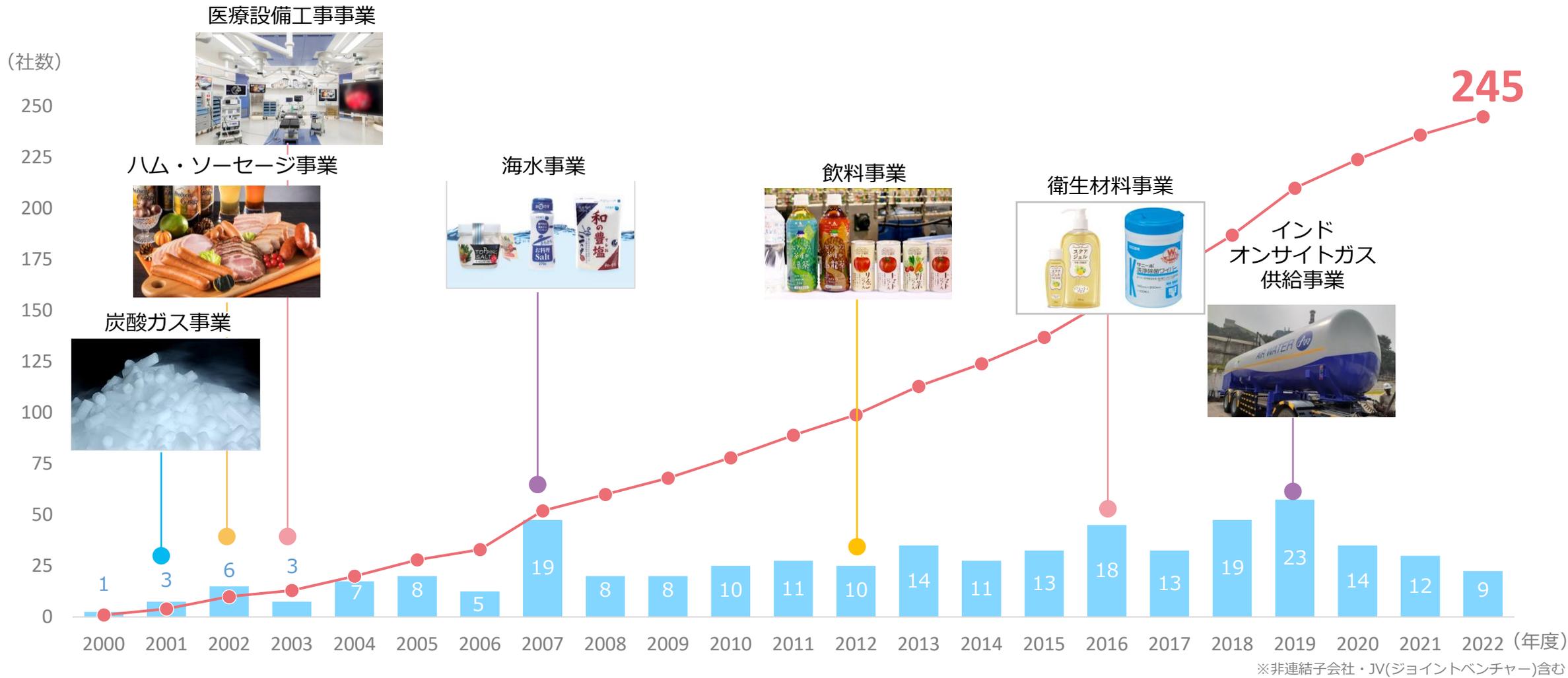
エア・ウォーター発足から現在（22年度）までの  
株価成長率 **8.6倍**



※当社株価、日経平均株価のいずれも、2000年3月末を基準として指数化した数値にて表示

# M&Aによる成長実績

成長の柱としてM&Aを推進、2000年から累計245※社のM & Aを実施し、事業成長を実現してきました。



医療設備工事事業



ハム・ソーセージ事業



炭酸ガス事業



海水事業



飲料事業



衛生材料事業



インド  
オンサイトガス  
供給事業



# 安定成長の源：暮らしや産業を支える広範囲な事業領域

多様な事業を展開することで経済環境に左右されず、安定な成長を実現する事業ポートフォリオを構築してきました。

## アグリ&フーズ



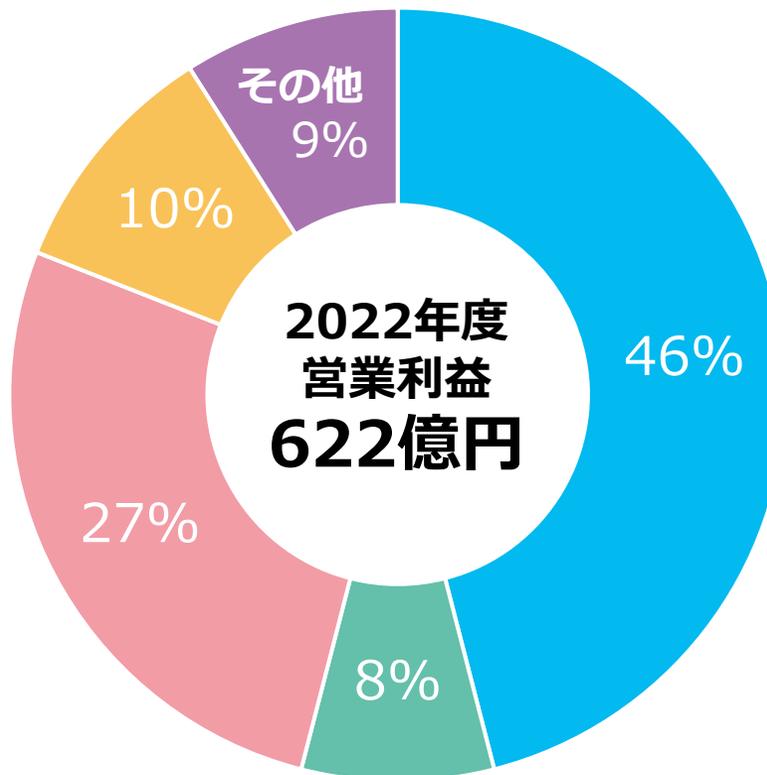
## ヘルス&セーフティー



## デジタル&インダストリー



## エネルギーソリューション



※セグメント別利益構成比は調整額57億円を除いて表示

# 国内高シェア製品群

私たちの生活にも当社製品が関係しています。

23%



酸素ガス

30%



窒素ガス

34%



アルゴンガス

47%



No.1

ドライアイス

38%



No.1

医療用酸素

45%



No.1

医療用ガス配管工事

30%



No.1

生ハム

42%



No.1

業務用塩

幅広い業種の製造業を支える産業ガスの安定供給に加え、半導体業界向けにバリューチェーン全体を支える幅広い商品・サービスを提供しています。



大規模オンサイトガス供給



産業ガス ローリー供給



産業ガス シリンダー供給



ドライアイス



エレクトロニクス関連機器



ケミカル製品

LPガス、灯油、LNGの販売等に加え、積極的な技術開発で低炭素・脱炭素化への貢献と地産地消の資源循環型エネルギー供給モデル確立を目指しています。



LPガス



給湯器



灯油



LNG関連 (燃料転換)



小型CO<sub>2</sub>回収・利活用装置



液化バイオメタン製造プラント

医療現場に不可欠なガスに加え、設備工事、アウトソーシング受託（SPD<sup>※</sup>・滅菌）、衛生材料など多彩な製品・サービスを提供。



医療設備・機器



医療ガス

在宅医療



アウトソーシング受託（SPD・滅菌）



衛生材料



注射針



エアゾール製品

冷凍食品からハム・ソーセージ、青果卸・加工・小売、飲料製造販売、スイーツへと事業を拡大し、業務用から市販用まで幅広いラインアップを展開しています。



ハム・ソーセージ



スイーツ



飲料



栽培・農産



野菜加工



青果小売

インド・北米における産業ガス、データセンターなどで使われる高出力UPS（無停電電源装置）のほか、業務用塩の製造・販売、物流、木質バイオマス発電など幅広い事業を展開しています。



産業ガス供給（インド）



産業ガス供給・関連機器販売（北米）



高出力UPS（無停電電源装置）



物流



塩



木質バイオマス発電

# 成長戦略



戦略 1

海外事業の拡大  
(インド)



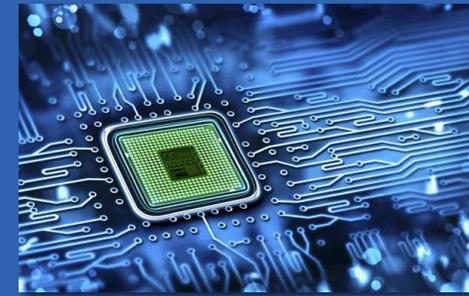
戦略 2

海外事業の拡大  
(北米)



戦略 3

国内エレクトロニクス  
事業の拡大



## 市場

高度経済成長を背景に、自動車や建材への鋼材需要拡大により、インドの産業ガス市場は世界で最も成長

## 戦略

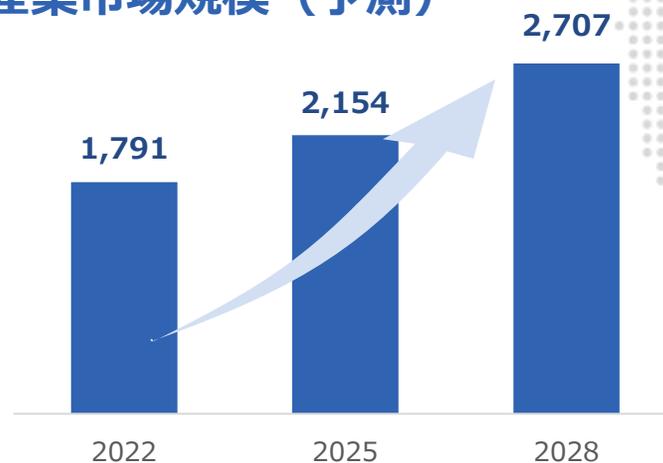
当社はインド市場で第3位のポジションに位置しており、今後も市場成長およびマーケットシェア獲得を目指す。

- 鉄鋼オンサイトガス供給の新規獲得
- ガス製造拠点の拡充によるインフラネットワーク構築



## インド産業市場規模（予測）

(百万USD)



※出典「gasworld」

インド国営鉄鋼公社  
ドゥルガプル製鉄所向け  
オンサイトガス供給を  
2023年度に受注



**市場** 産業ガスの世界最大の市場である北米は、半導体などの主要な産業に加え、水素サプライチェーンの構築も進行中

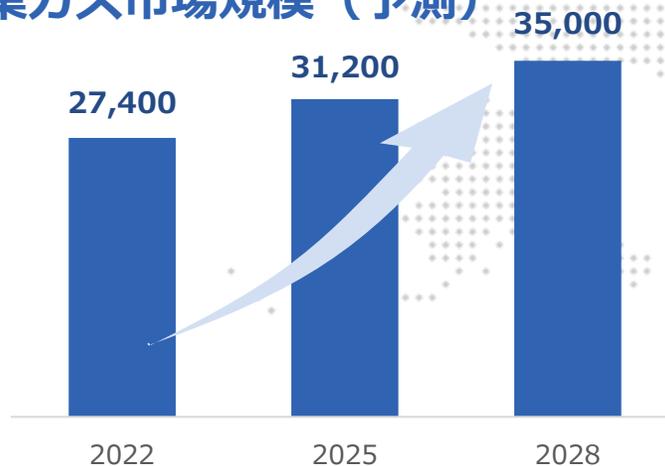
**戦略** 日本の鉄鋼オンサイト供給事業で培ったガス供給・エンジニアリング技術を梃子に製造から販売まで一貫した産業ガス事業に本格参入

- 「米国版VSUモデル」<sup>※</sup> 戦略の展開
- 付加価値の高いヘリウムやグリーン液化水素事業の確立

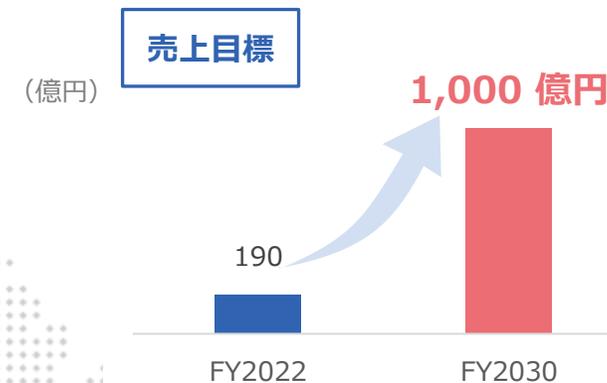
※VSU（中小型プラント）モデル：詳細はp.6を参照

## 北米産業ガス市場規模（予測）

(百万USD)



※出典「gasworld」



2023年度にアメリカでヘリウム供給事業を展開する American Gas Products社をグループ化



## 市場

日本国内で、半導体の大規模投資が進行中

## 戦略

- 大手半導体メーカーの工場新增設に連動し、オンサイトガス供給案件に積極投資
- 特殊ガス・ケミカル、電子材料など多様な製品群で周辺領域も拡大

エレクトロニクスユニット  
売上収益（実績・目標）

（億円）

948

FY2022

1,500億円

FY2030

## 窒素ガス供給

大手半導体メーカーに向けて、シリコンの酸化を防ぐために使用する窒素ガスを大量に供給



オンサイトガス供給

## 半導体関連製品

ガス供給のみならず、半導体の製造工程で使用する特殊ガスやケミカル材料、化成品、さらには大規模投資を背景とした半導体メーカー・製造装置向け関連機器など、幅広い事業を展開



電子材料



特殊ガス・特殊ケミカル・供給装置



ガス精製装置・除外装置



熱制御装置

# 持続可能な社会の 実現に向けて



パーパスのもと、社会課題の解決を通じて社会に貢献し続けることが、エア・ウォーターの持続可能な成長の道であると考えています。

## パーパス

### 地球の恵みを、社会の望みに。

エア・ウォーターグループは、1929年の創業以来、社名に冠した空気や水などのさまざまな地球の恵みを、人々の暮らしや産業にとって「なくてはならないもの」へと進化させ、社会に安定的に提供し続けています。

世界中の人々が未来に向かって、より明るく豊かに生きていくために、私たちは、空気のように、水のように、もっと“なくてはならない”存在へ。

今後も人と地域に寄り添い、暮らしや産業に不可欠な価値ある製品やサービス、ソリューションを提供していくことで、社会の望みに応えていきます。

# 私たちが目指す社会

現在の社会は、地球環境、ウェルネスといった分野でさまざまな課題を抱えています。  
私たちは、こうした社会課題を解決します。

- スマート社会／DX進展
- デジタル技術の革新

- 脱炭素化
- 資源循環
- 環境規制

- 人口爆発／食料難
- 食の安全保障
- 食品ロス低減

- 超高齢社会
- 衛生意識向上
- 自然災害／BCP強化



地球環境

ウェルネス

# 目指す世界におけるエア・ウォーターの役割

産業ガスの技術を活用し、カーボンニュートラルおよび食料自給に貢献していきます。

## 気候変動

## 食料情勢の変化

カーボン  
ニュートラル



食料自給



産業ガスの技術



グループ内の多様な事業

グループの多様な事業と技術の融合を行い、脱炭素ソリューションやクリーンエネルギーにかかわる新たなビジネスモデルの構築に挑んでいます。

## 社会のカーボンニュートラル化

### 取組み例 ①

#### 液化バイオメタンによる地産地消エネルギーモデル



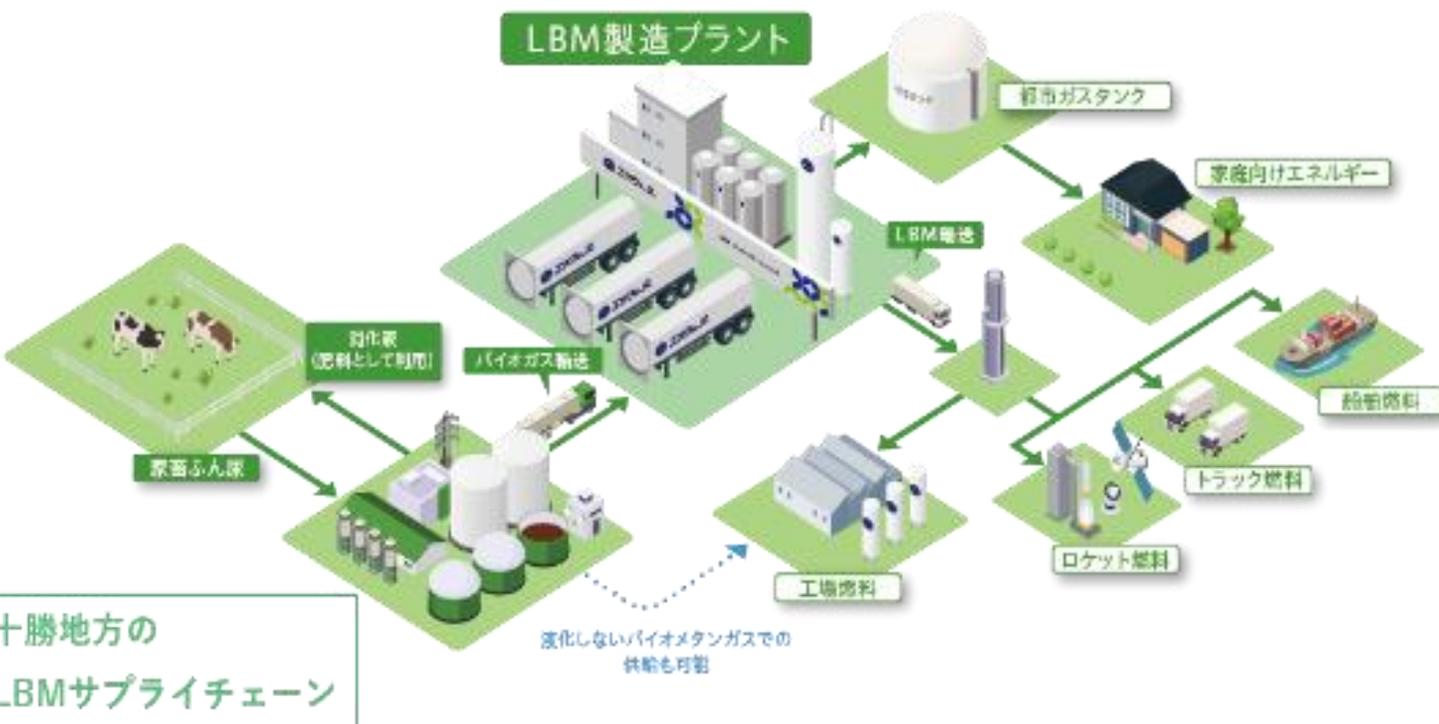
### 取組み例 ②

#### 水素サプライ事業



# 液化バイオメタン(LBM)の製造と活用

家畜ふん尿から発生するバイオガスを、LNGの代替燃料となる液化バイオメタン（LBM）に加工し、域内で消費する地域循環型のサプライチェーン構築に取り組んでいます。



## 2024年度より実用化



パナソニック インダストリー(株)  
帯広工場

直近では、よつ葉乳業(株)で工場の動力に使用されることが決定。他にも、パナソニック インダストリー(株)をはじめ、将来的には船舶やトラック燃料としても使用予定。

## ロケット燃料として使用を目指す

インターステラテクノロジズ(株)がLBMをロケット燃料として使用することを決定。2023年12月より実証実験を開始。



燃料試験の様子  
提供：インターステラテクノロジズ

# 水素への取組み

産業ガスメーカーとしてのノウハウ・技術を活用し、米国・日本において水素関連事業を展開しています。

## 米国での取組み

- 米国において水素関連機器の製造・販売事業を展開
- 水素技術が進む米国において、モビリティ向けの水素製造・供給事業を目指す



水素関連機器

水素関連機器  
(液化水素タンク・水素トレーラー・リチャージャー<sup>※</sup>)を販売

※液化水素の輸送とガス水素の充填が1台で可能となる移動式水素ステーション



水素ステーション

米国カリフォルニア州で水素ステーションを運営する FirstElement Fuel, Inc.に出資

## 国内での取組み

- 工業用水素事業を展開しており、水素製造拠点を基盤としてCO<sub>2</sub>フリー水素製造を目指す
- エネルギー用途の水素需要が増えることを見据えて技術実装を加速



(株)しかおい水素ファーム

国内唯一の家畜ふん尿由来のバイオガスから水素の製造・供給事業を展開



CO<sub>2</sub>フリー水素

NEDOの採択を受け、CO<sub>2</sub>を直接排出されることなく水素を製造する実証実験を開始

※掲載画像は水素製造設備を設置予定の北海道豊富町天然ガス採取プラント

# 国内における食に関わる課題

国内においては食料自給率の低下が課題となっており、関連して高齢化に伴う農業従事者の減少や食品ロスの問題があります。

## 食料自給率の低下



- 日本の食料自給率は先進国最低レベルの38%
- 政府は2030年度目標を45%に設定

## 農業従事者の高齢化・減少



- 日本の農業従事者数は2015年度と比較し、60万人減少
- 平均年齢も69歳と高齢化が進んでいる。

## 食品ロス



- 日本における「食品ロス」は523万t。1人当たり毎日お茶碗1杯分に相当する食品ロスが発生している。

### 取組み例 1 : 農業従事者のサポート



収穫代行による  
作業負担の軽減



スマート農業による  
生産効率化

### 取組み例 2 : フレッシュロジスティクスの開発



予冷+容器+ガス



産業ガスを活用した  
鮮度保持技術



当社の  
物流ネットワーク

(株)神明ホールディングス、(株)ベジテック、デリカフーズホールディングス(株)と4社協業を開始。  
調達・加工・販売・物流機能の相互活用を強化し、持続可能な農業モデルの構築に向けた取組みを加速していきます。



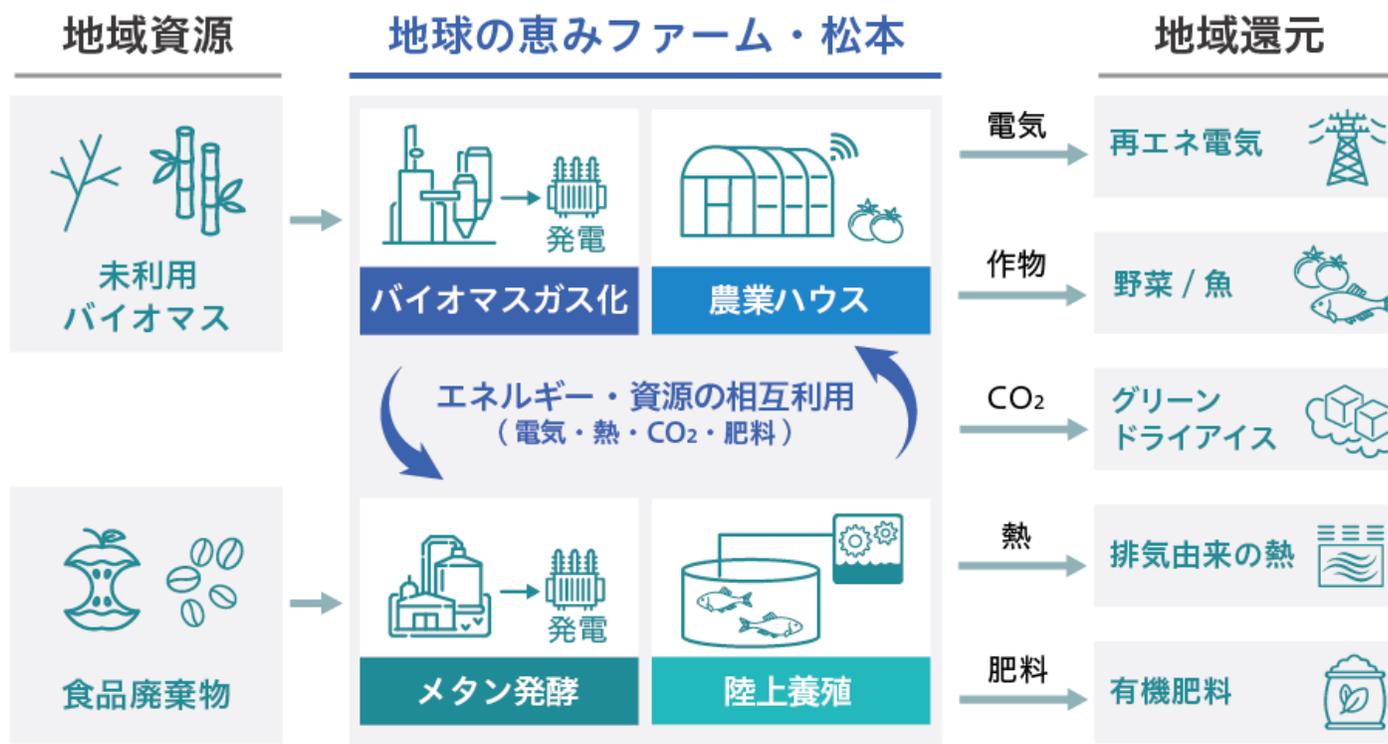
農業の生産性向上

食品ロス低減

食料自給率の向上

長野県松本市で、エネルギーの地産地消を目指した資源循環モデルの開発施設を建設を進めています。

**「地球環境」と「ウェルネス」双方で目指す社会の象徴となるモデル施設**



# 株主還元・ご案内



1.

“安定的”かつ  
“成長する”事業

キャッシュカウである産業ガス事業を基盤とし、海外への成長投資や、社会課題解に向けた事業投資を実施

2.

安定配当

配当性向は30%を基準とし、将来にわたって業績に見合った安定的な配当を実施

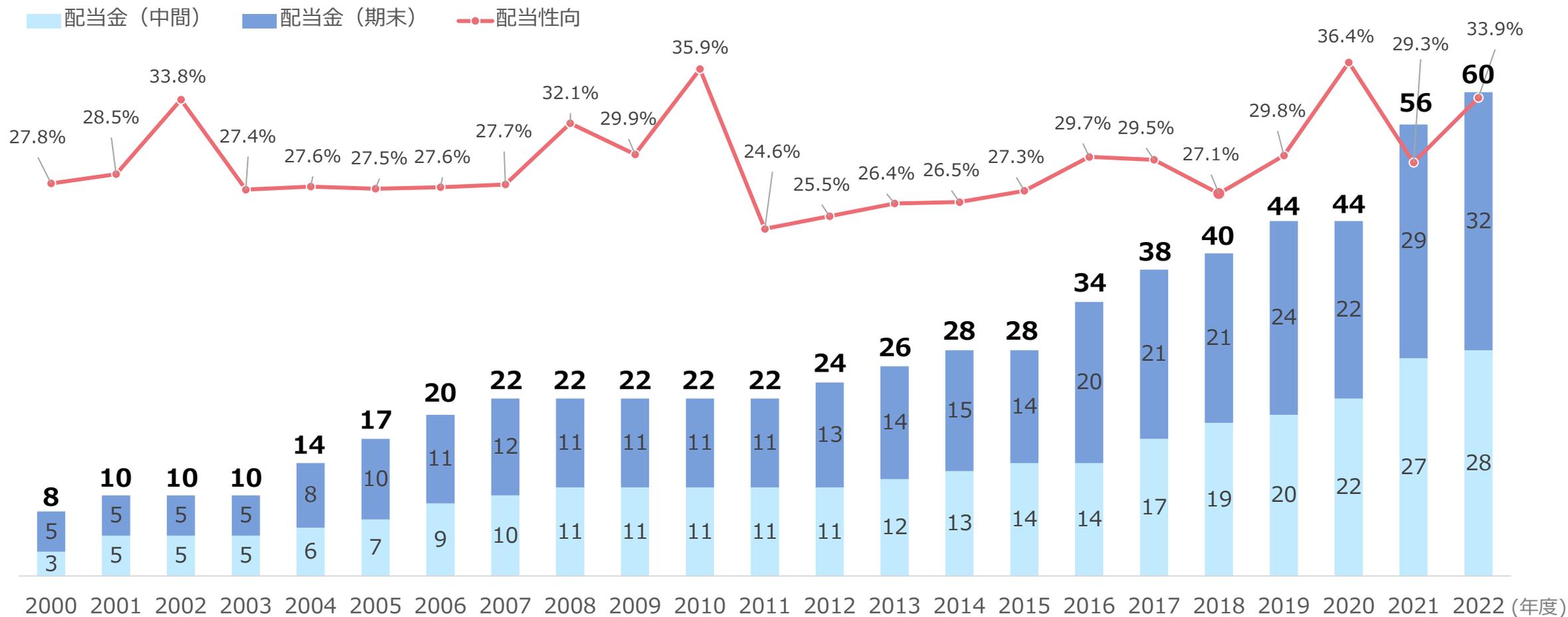
3.

株主優待の  
拡充

23年度より単元株100株より株主優待を拡充

## 株主還元—安定配当実績

配当性向は30%を基準とし、将来にわたって業績に見合った安定的な配当を行います。  
2000年の発足以来、減配はありません。



# 株主優待の拡充(2024年2月発表)

株主優待の拡充を実施し、100株（1単元）の株式保有で株主優待が受けられるようになりました。毎年3月末を基準日として株主優待を実施しています。

## 株主優待を拡充

100株（1単元）の購入で優待が受けられるようになりました！

**2024年**  
株主優待  
拡充

**2020年**  
株主優待  
拡充

保有株式数	変更後
<b>NEW !</b> 100株以上 1,000株未満	当社グループ製品 (1,500円相当)
1,000株以上 3,000株未満	当社グループ製品 (3,000円相当)
3,000株以上 7,000株未満	当社グループ製品 (5,000円相当)
7,000株以上	当社グループ製品 (10,000円相当)

100株以上1,000株未満



**フルーツバーセット**  
(ゴールドパック株)

3,000株以上7,000株未満



**果物・野菜ジュース詰め合わせ**  
(ゴールドパック株)

3,000株以上7,000株未満



**ハム・ベーコンセット**  
(エア・ウォーターアグリ&フーズ株)

1,000株以上3,000株未満



**海苔詰め合わせ**  
(株日本海水)

3,000株以上7,000株未満



**冷凍食品詰め合わせ**  
(エア・ウォーターアグリ&フーズ株)

3,000株以上7,000株未満



**果物**  
(株九州屋)

地球の恵みを、社会の望みに。



### お問い合わせ先

エア・ウォーター株式会社  
広報・IR推進室  
TEL：06-6252-3966  
メールアドレス：info-h@awi.co.jp

- この資料は、エア・ウォーター株式会社（以下、当社）の経営戦略・計画、将来の方針等の情報提供を目的として当社が作成したものであり、特定の有価証券又は金融商品の購入や売却の勧誘のために作成されたものではありません。当社又はその関係者のいずれも、本資料に記載された内容の正確性、適切性又は完全性について、何ら責任を負うものではありません。
- 当社は、この資料において、正確な情報を記述するよう万全を期しておりますが、この資料に含まれるあらゆる情報について、その正確性及び完全性を保証するものではありません。よって、ご覧になる方は、この資料に含まれる情報を自らの判断に基づいてご覧いただくものとし、当社は、ご覧になる方が、この資料の内容に依拠したことに基づくいかなる損害についても責任を負わないものとしします。
- この資料に記載されている内容のうち、当社の将来に関する計画や戦略に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社の判断に基づいており、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。従いまして、当社の見解や開示内容から大きくかい離する可能性があることをご留意願います。また、本書において当初設定した目標は、全て実現することを保証しているものではありません。なお、実際の結果等にかかわらず、当社は本書の日付以降において、本書に記述された内容を随時更新する義務を負うものではなく、かかる方針も有していません。